

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立天王寺スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.7%
達成率		113.4%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	100.0%	99.6%	0.4%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.0%	96.2%	1.8%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	95.3%	91.4%	3.9%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	42,000,800	45,995,525	414,800	
	計画	41,586,000	41,586,000		
利用料金収入	実績	9,868,980	9,685,190	-111,020	
	計画	9,980,000	9,980,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	35,473,128	38,473,120	8,548,018	
	計画	26,925,110	25,418,385		
合計	実績	87,342,908	94,153,835	8,851,798	
	計画	78,491,110	76,984,385		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	25,265,108	25,783,735	1,665,108	
	計画	23,600,000	23,237,200		
物件費	実績	41,067,036	42,299,973	2,969,226	
	計画	38,097,810	37,153,480		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	25,240,089	24,532,137	8,446,789	
	計画	16,793,300	16,593,705		
合計	実績	91,572,233	92,615,845	13,081,123	
	計画	78,491,110	76,984,385		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	113.4%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・引続き「エスコ事業」とは別に体育館の照明、空調のON/OFFの調整をこまめに実施、未使用時にはOFFを徹底した。 ・備品、消耗品発注の際は最低ロットを守り、必要最小限の経費で済むよう管理し購入した。 ・コロナ禍における消毒液やペーパー類など感染予防対策に係る消耗品はストック含め確保した。 ・修繕については、毎月ミーティングで優先順位と修繕方法を吟味しコストダウンとともに快適な施設づくりに努めた。また設備故障等については、必ず相見積を取り価格交渉を行いコスト削減に努めた。 ・人員配置は適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めた。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・一般利用者チケットにバーコードを追加。スムーズなチェックインができるよう工夫した。 ・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、営業、利用者の迷惑につながらないように努めた。 ・館外敷地エリアにおけるスケートボード利用に対する近隣住民からの苦情。 →現在設置のスケボ滑走防止のバリカーを増設し対策を強化した。 ・自転車置き場に駐車 of 自転車へのいたずら。 →定期的なスタッフ巡回による注意喚起。 ・近隣の子供たちが施設壁面にボール当てをすることで破損。 →掲示物の更新と定期的なスタッフ巡回による注意喚起。 ・屋内ブルウォーキング2レーン確保の自己中心的な恫喝と市議員への通報。 →利用状況を見ながら遊泳、ウォーキングレーンを設定。クレーム主は12月3日以降利用無し。 ・自己中心的なブルレーン独占。同レーン利用者への威嚇行為。 →注意喚起及び社員、ベテランを中心とした監視体制で、現在のところ問題行動無し。 ・タトゥーが入った方や露出した水着着用で入場されている方を何とかしてほしい →「刺青」や「タトゥー」の入った方の利用につきましては、地方自治法に則り公の施設を利用することについて不当な差別的取扱いをしてはならないことから、それを理由とした入場規制は出来ないことから、ラッシュガードやサポーターを着用していただくなどしてを隠していただくようお願いを徹底した。 「露出度の高い水着」を着用されている方に対しましては、他の水着にお着換えいただくよう注意するが、別途水着をお持ちでない場合は、ブルサイド移動時ではタオル等で覆っていただくようお願いした。
--

6 外部専門家意見

全室において、利用率が95%を超え、施設運営が順調であることが伺える。利用料金収入は概ね計画通り、事業収入についても自主教室の新規開催・拡充や空き時間の利活用等により、計画を大幅に上回っている。 光熱水費の影響で収支がマイナスとなっているが、本社と連携したPRなどの工夫、好評な自主教室の増設を図るなどして、収支改善への努力が感じられる。 稼働率が高い状況かつ、人件費や光熱費の削減は難しいと考えられる。しかし、利用者数の少なかった事業の原因分析や自販機の商品の見直しによる回転率の向上といった工夫でさらなる収益性の向上を図ってほしい。 昨年同様に新規事業が例年に比べて少ない。より積極的に、新しい企画の開発や新規利用者の獲得に努めていただきたい。また、経費縮減について、物価高騰等により厳しい状況であるがコストダウンなど経費縮減に努め収支改善に取り組んでいただきたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

	施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立真田山プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		92.3%
達成率		115.4%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		88.7%
達成率		110.9%

2 管理運営の成果・実績（アイスクースト）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.5%
達成率		109.4%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	91,894	75,640	16,254
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	39,723	31,631	8,092
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	21,562	17,605	3,957
稼働率			

利用状況（アイスクースト）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	15,564	16,940	-1,376
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	168,003,201	183,982,100	-414,799	
	計画	168,418,000	168,335,000		
利用料金収入	実績	57,652,625	49,250,855	-6,792,095	
	計画	64,444,720	66,313,270		
その他収入 （自主事業収入）	実績	57,933,389	38,688,586	-8,379,881	
	計画	66,313,270	64,444,720		
合計	実績	283,589,215	271,921,541	-15,586,775	
	計画	299,175,990	299,092,990		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	53,788,322	47,447,711	-7,929,678	
	計画	61,718,000	60,566,800		
物件費	実績	210,486,617	219,011,815	-14,526,373	
	計画	225,012,990	226,066,670		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	9,671,934	1,274,638	-2,773,066	
	計画	12,445,000	12,459,520		
合計	実績	273,946,873	267,734,164	-25,229,117	
	計画	299,175,990	299,092,990		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	115.4%	A	
利用者満足度（トレーニング室）	110.9%	A	
利用者満足度（アイススケート）	109.4%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・引続き「エスコ事業」とは別に体育館の照明、空調のON/OFFの調整をこまめに実施、未使用時にはOFFを徹底した。 ・備品、消耗品発注の際は最低ロットを守り、必要最小限の経費で済むよう管理し購入した。 ・コロナ禍における消毒液やペーパー類など感染予防対策に係る消耗品はストック含め確保した。 ・修繕については、毎月ミーティングで優先順位と修繕方法を吟味しコストダウンとともに快適な施設づくりに努めた。また設備故障等については、必ず相見積を取り価格交渉を行いコスト削減に努めた。 ・人員配置は適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めた。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・一般利用者がチケットにバーコードを追加。スムーズなチェックインができるよう工夫した。 ・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、営業、利用者の迷惑につながらないように努めた。 ・館外敷地エリアにおけるスケートボード利用に対する近隣住民からの苦情。 →現在設置のスケボ滑走防止のバリカーを増設し対策を強化した。 ・自転車置き場に駐車する自転車へのいたずら。 →定期的なスタッフ巡回による注意喚起。 ・近隣の子供たちが施設壁面にボール当てをすることでの破損。 →掲示物の更新と定期的なスタッフ巡回による注意喚起。 ・屋内プールウォーキング2レーン確保の自己中心的な恫喝と市議員への通報。 →利用状況を見ながら遊泳、ウォーキングレーンを設定。クレーム主は12月3日以降利用無し。 ・自己中心的なブルレーン独占。同レーン利用者への威嚇行為。 →注意喚起及び社員、ベテランを中心とした監視体制で、現在のところ問題行動無し。 ・タトゥーが入った方や露出した水着着用で入場されている方を何とかしてほしい →「刺青」や「タトゥー」の入った方の利用につきましては、地方自治法に則り公の施設を利用することについて不当な差別的取扱いをしてはならないことから、それを理由とした入場規制は出来ないことから、ラッシュガードやサポーターを着用していただくなどしてを隠していただくようお願いを徹底した。 「露出度の高い水着」を着用されている方に対しましては、他の水着にお着換えいただくよう注意するが、別途水着をお持ちでない場合は、プールサイド移動時ではタオル等で覆っていただくようお願いした。
--

6 外部専門家意見

各施設の1日当たり利用者数を前年度と比べると、アイススケート場では約8%減少しているが屋内プール、屋外プール及びトレーニング場では20%以上の増加となり、利用者数全体では増加しており、収支はプラスとなっている。 アイススケート場については、2年連続での気温の上昇による3日前倒しの休館や、多くの利用者が見込まれる土日祝の荒天などによって、総入場者数も前年を下回っている。そもそも少ない稼働日数が前提であり、数日の不調が全体に大きく影響を与えるためやむを得ない面は理解でき、そのような中、施設全体での収支がプラスとなっていることは評価できる。 一方で、新規事業がなく、利用促進策についても、新たな取り組みには乏しいようである。教室事業等の魅力向上にも力を注ぎ、新規利用者の獲得に努めていただきたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立城東スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.5%
達成率		109.4%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.9%	-0.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.1%	98.8%	0.3%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	86.7%	75.2%	11.5%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	29,454,530	39,002,791	0	
	計画	29,454,530	29,362,925		
利用料金収入	実績	9,530,920	2,483,290	3,238,920	教室利用枠売上計上による
	計画	6,292,000	6,292,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	24,454,463	9,970,473	-5,316,537	令和4年度の長期休館中の退会増加 および営業再開後の入会苦戦
	計画	29,771,000	29,550,000		
合計	実績	63,439,913	51,456,554	-2,077,617	
	計画	65,517,530	65,204,925		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	22,033,958	19,662,972	902,958	社員労務費パッケージ・パート最低賃金高騰
	計画	21,131,000	20,867,000		
物件費	実績	27,558,455	23,479,546	-2,099,075	水光熱（ガス・電気）計画より減少、修繕・消耗品等増加
	計画	29,657,530	29,630,925		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	19,560,021	11,870,003	4,831,021	コーチ料高騰、教室利用枠経費
	計画	14,729,000	14,707,000		
合計	実績	69,152,434	55,012,521	3,634,904	
	計画	65,517,530	65,204,925		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	109.4%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・館内の空調温度を25℃に設定し、ON/OFFをこまめに実施することで節電を行った。 ・室内温度計を各所に設置することで、各エリアの温度を把握し真夏や真冬の設定温度を安全に且つ必要最小限に保つよう努めた。 ・館内の照明については、空調と同様に、利用状況に合わせて適宜ON/OFFの調整を実施した。 ・修繕については、項目ごとに優先順位をつけるとともに、修理の際は必ず相見積を取りコスト削減に努めた。 ・労務費については、無駄のない人員配置をおこない、シフト調整を図った。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

いただいたご意見に関しては、直接ご返答する、またメールによるお問い合わせへの返答は、できる限り24時間以内に返答するようにしている。また、簡易な修繕については、当社スタッフで対応し、できるだけ早く使用できる状態にするようにしている。 ・スタッフについては、対応が親切、丁寧である、また明るく元気、受付の対応が良いといったご意見があった。引き続き継続する。 ・清掃については、トイレが汚いのご意見があった。日常清掃と1時間に1回の巡回清掃で対応をした。また、別件であるが、トイレの洋式化についてのご意見もあった。 ・貸出備品については、テニスボール、バドミントンのシャトルの入れ替え、補充に関するご意見があった。 ・参加者の皆様へは定期的（およそ3ヶ月をめに）に入れ替え、補充を実施すると回答している。 ・その他は、天井工事において体育館内の照明を交換したが、電気が暗いというご意見もあった。明るさに関しては既定の明るさで調整をしている。（通常の約7割程度で運用）
--

6 外部専門家意見

体育場の使用率が99%以上とほぼ使用されている状況に加え、多目的室についても前年比11.5%増加しているものの、昨年度の長期休館により退会者が増え営業再開後も会員が戻らず収支に影響を与えている状況が見られる。 経費縮減に努めていただいているものの、500万円を超える赤字運営となっていることから、積極的な新規事業開発、新規利用者の獲得に取り組み収入の増加に努めていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	